

議員全員協議会

日 時	令和4年4月18日(月) 閉会中	8時54分 開会 10時51分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生	2番 谷口恵世 3番 絹村智昭
	4番 名波和昌	5番 加藤 彰 6番 木村正利
	7番 松下定弘	8番 種茂和男 9番 濱崎一輝
	10番 原口康之	12番 太田佳晴 13番 中野康子
	14番 大石和央	
欠席議員	11番 大井俊彦	
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、政策監、健康推進部長、産業経済部長、秘書政策課長、情報交流課長、健康推進課長、部付課長（コロナ経済対策・沿岸部活性化担当）、母子健康係長	
傍 聴		

署名 _____ 議長

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

それでは、ただいまから、議員全員協議会を始めさせていただきます。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

最初に、市長報告をお願いいたしたいと思います。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さん、おはようございます。

新茶シーズンへ突入したかと思ったら、非常にお天気が崩れて、しかも、また寒い日が続いて、これがお茶の生育に影響を与えなきやいいがなということで、少し心配をしているところではございますが、明日からは天気が持ち直すように聞いておりますので、今日から私と副市長、後ほど説明しますが、茶商や生産者のところを訪問させていただく予定でございます。

それでは、提出資料に基づいて、私のほうから何件か報告事項を述べさせていただきたいと思っています。

まず、昨日ですが、地頭方漁港の広場で地元の実行委員会の皆さんによりますV i t a m i n M a r c h e が開催されました。

地頭方周辺のお店が出店をいたしまして、お弁当やお菓子や小物の販売や体験イベント、またステージではフラダンスとかキッズダンスとかバンド演奏が行われ、多くの方でにぎわいました。

本当に出店数も30店舗近くあったんですかね。それから、お客さんも非常に寒い小雨の降る天気でしたけれども、予想外に多くの皆さんが訪れていました。

やはり、巣籠もり状態に飽きたといえますか、早く外へ出たいという思いが出たのかなというふうに思っています。

感染防止には気を遣いながら開催いただいたことに感謝をいたす次第であります。

また、この日、日曜日、昨日ですが、図書交流館いこっとは、開館1周年を迎えまして、各図書館で感謝イベントを開催しました。いこっと、そして榛原図書館ですね。

日頃、ご来館いただく皆様への感謝を込めまして、抽せん会とか雑誌リサイクル（無料配布）でありますとか、移動図書館のひまわり号の乗車体験、おはなし会などを開催いたしまして、こちら、ふだんの日よりも非常に多くの皆さんが図書館に訪れて、図書の貸出しのコーナーの受付をする、自動で受付機があるわけですが、長蛇の列ができるほど、多くの皆さんがお見えになっていました。

また、スーパーラックさんからは、図書の寄贈ということで、100冊ほどの本を、子供の科学雑誌といたしますか、そういったものを選ばせていただいたようですが、ご寄付を頂いたということでございます。

これまでの2年間は、コロナ禍によりますイベントの中止や延期が続いておりましたが、感染症対策を万全に、そして、ウィズコロナを踏まえた社会活動を再開していきたいというふうに考えているところであります。

それから、ロシアのウクライナ侵攻や、その影響など、暗いニュースを連日耳にしているわけでもございまして、経済活動の停滞で景気が後退し物価の上昇が続く状況だからこそ、明るいこうした話題が大切だということでございます。

当市、4月、5月は、春季イベントが盛りだくさんとなっております、市民の皆様には、ぜひ気分転換にお出かけをいただければと思っております。

そういう中で、資料のほうにもございますが、東光寺長藤まつり、私も昨日、少し見てきましたけれども、5分咲きぐらいで、今すぐ見頃できれいすし見事ですので、また4月末まで行っているということですが、今週末がほぼ満開になるのではないかとというふうに言われておりますので、また、お出かけをいただければと思いますし、来週、24日の日曜日には、さがら草競馬大会が3年ぶりに開催をされるということでございますので、また、議員の皆様にもご出席をいただければと思います。

さらには、シーサイド・マルシェ・サガラが5月8日の日にも開催されるということでありますので、また、お時間があったらお出かけいただければと思います。

今日は、これから7件、市内の茶況等につきまして、報告をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

まず、市内の茶況でございますが、静岡茶市場では、本日、今朝、お茶の取引の活況を祈願するセレモニーに続きまして、新茶期の到来を告げる新茶初取引が行われまして、5月2日の十八夜で大型連休にかけた新茶取引がスタートいたしました。

例年ですと、私も招かれて、この取引に出席をさせていただくわけですが、3年連続でコロナ禍ということで、規模を縮小してということでありましたので、私は出席をいたしませんでした。

そして、市内の茶況でございますが、今年の冬は非常に寒かったと、厳しかったということから、茶樹が十分に休眠、休眠打破と言いますが、されたため、一気に春になって芽が伸びる、高品質のお茶の生産が期待されているというところでございます。

気温は2月が低めに推移いたしまして、3月上旬は高めに推移したものの、下旬には低温によりまして、早場所が少し成長が抑えられたというようなこともございますけれども、その後は気温が上昇いたしまして、早場所の一部では、摘採を開始したところもあるというふうに伺っておりますが、本格的には20日頃からの摘採が予定されているというふうに伺っております。

流通の状況といたしましては、茶商さんに伺ったところ、在庫量が適正、いわゆる昨年、はけているということでもありますので、国際情勢によります燃料費の高騰とか、あるいは資材の高騰

が適正に反映された取引価格、市場価格となるということを期待をしているところでございます。

特に燃料費の高騰対策といたしましては、政府が石油の元売業者に対しまして、補助をするとともに、農業者自身が保険を掛けている共済であります。セーフティーネットの構築事業によりまして、市内で行っておりますけれども、今後の動向は注視していく必要があるというふうに考えております。

また、県では緑茶等に含まれるカテキンが新型コロナウイルスを不活性化するという検証結果のパンフレットを、資料3でございまして、やっと作成をいたしました。

あくまでも試験管レベルでの検証結果ということではございますが、緑茶成分がコロナウイルス細胞の感染力を低下させるということが、確認をされていますので、このパンフレットの中にもございますけれども、唾液と、それからお茶とコロナウイルスを試験管の中に入れて10秒間置くと、99%が不活化するというような結果が出ているということでもありますので、お茶を10秒間口に含ませたり、お茶を10秒間以上ごくごく飲んでみると、取りあえず、口の中のウイルスは不活化するということでもありますので、たくさんお茶を飲みましょうよということで、そして、効果があるということを前面に出してお茶の販売をしていただければというふうに思っております。

こうしたことから、このパンフレットを茶商、茶工場に配布をさせていただいて、販売促進を図っていただくように、訪問も兼ねて行いたいというふうに考えております。

例年実施をしております茶工場の激励訪問についてであります。本日の午後から4班体制、私と副市長、産業経済部長、JAハイナン常務で、茶工場142工場と茶商25事業所を訪問いたしまして、生産者や茶商の皆さんから直に課題等を伺って、今後の施策に生かしてまいりたいと考えております。

それから、市役所では、新茶シーズンに合わせまして、牧之原茶のイメージ向上と消費拡大のために、市役所両庁舎におきまして、来庁者に新茶の呈茶サービスを行ってまいります。

今年は、5月11日の水曜日から、13日、金曜日の3日間、午前10時から午後3時まで榛原庁舎2階の市民ラウンジ、相良庁舎1階ロビーで行います。

新規採用職員と採用2年目の職員が呈茶をいたしますので、ぜひ、お立ち寄りをいただきたいというふうに思います。

次に、新型コロナワクチン接種の進捗状況等でございます。資料の4をご覧くださいというふうに思います。

1、追加接種の状況であります。高齢者については、ここにご覧のように、3回目、90.61%でございますが、64歳以下のワクチン接種が3割弱というようなことで、少し進んでいないというのは現実でございます。全年代を合わせますと48.65%、5割に迫っているという状況ではございます。

今後の接種体制でございますが、接種券発送数が4月15日、金曜日ですが4,300通を、そしてピークの28日には595通を、以降、徐々に減少しまして、毎週100通未満となるということでございます。

そうしたことから、接種体制の規模縮小と予約枠の公開の調整を行っていくということであり
ます。

集団接種につきましては、5月20日の金曜日をもって終了をするということで、今回、接種券
を発送した方たちについては、これに間に合いますので、5月20日で終了すると。5月31日まで
は、これまでどおり実施をいたしますが、予約状況で公開枠を調整いたします。そして、6月以
降は医療機関を限定して、規模を縮小していくと。引き続き、接種は行っていくということであ
ります。

今後の予約枠の確保と接種見込みということではありますが、こうしたことから、現在の状況、
そして今後の見込みを、これはあくまでも推定でございますので何とも言えませんが、
60%に届かないのではないかなと、55%程度ではないかということで見込んでい
るところであります。

そうした中で、モデルナワクチンが180本、3,600人分の使用期限が5月24日で切れます。そう
したことで、集団接種は5月7日で終了でありましたが、20日まで延長すると。それ以降は、使
用期限が切れたものについては破棄するということになります。これは、どこの市町村におい
ても、こうした状況になっていると。

国の今のワクチンの確保量は8億回分だったかな、確保しているということで、仮に4回目の
接種が始まっても、十分、ワクチンの量は今後あるということで伺っているところであり
ます。

それから、次の裏側にいっていただいて、5歳から11歳の小児接種でありますけれども、これ
までに、4月10日現在であります。2回目の接種を終えた方が、253人の9.76%という
ことでございます。

今後の予定であります。第2クール、第3クール、共に500人分ずつ用意をさせていただ
いているということでもあります。

そして、4回目の追加接種の国の動きであります。国からの通知は厚生労働省のほうから、
新型コロナワクチンの追加接種、4回目接種の体制確保についてということでもあります。

ここにもございますように、4回目の追加接種の実施や対象者3回目からの接種間隔は3回目
の接種の効果の持続期間等の科学的知見や諸外国の実施状況を踏まえて、引き続き審議する
ということで、まだ、はっきり国がいつからどのような体制でというのは示していないわけ
ですが、取りあえず自治体は3回目の接種を受けた全ての者が対象となることを想定して、
事務的な準備時間も考慮して、現時点から2か月程度を目途に、接種券や会場の手配等の
準備を進めることという通達が来ておりますので、引き続き、集団接種をすることで、
最大、一応考えて、準備はさせていただいているということでもあります。

そうした中で、新聞紙上等にも出ておりますが、一方では、政府の新型コロナウイルス感染症
分科会の尾身茂会長は、4回目の追加接種について、先ほども申しましたように追加情報
を集めて、精査、検討することが大事というふうなことを言っております。4回目の間隔とか
効能について、議論を現在していないと。諸外国の動向を参考に、今後、検討して
いくというようなこと

をおっしゃっていますので、今後、高齢者のみになるのか、どうなるのか、あるいは2類から5類にこれになるのかどうなのかというのも含めて、注視していく必要があるというふうに思っております。

いずれにいたしましても、3回目の接種は、ぜひ行っていただきたいというふうに思うところでございますので、よろしくお願いをいたします。

続きまして、ホストタウン事業や静波サーフスタジアムを核としたシティプロモーションの取組についてということですが、2020の東京五輪ホストタウン事業で培いました経験やご縁をレガシーとした沿岸部活性化に向けた取組が始まりました。

今後、静波サーフスタジアムでは、全国、世界規模の大会などの開催を計画しておりまして、さらなる関係人口、交流人口の拡大を推進していきたいと考えています。

まずは、静波のサーフスタジアムにおきましては、サーフィンの日本一を決める祭典、ジャパンオープンオブサーフィンが3月30日に静波のサーフスタジアムで開催をされました。

競技用のウエイブプールで行われる競技会では、日本初のこうした大会となりまして、男子は村上舜選手、女子は東京五輪で銅メダルを獲得いたしました都築有夢路選手が優勝いたしまして、今後、開催予定の国際大会、ISAのワールドサーフィンゲームスへの出場権を獲得したところでございます。

そうした中で、この競技用プールが、非常に競技にも適しているということで、静波サーフスタジアムの今後の大会等ではありますが、パラサーフィン、いわゆる障害者のサーフィン大会の全日本選手権が、今年の7月10日に開催が決定をしたところでございます。

市といたしましても、このパラサーフィンの全日本選手権、ご支援をさせていただきたいというふうに考えているところでございます。本日も主催者が見えまして、事前の打合せを行うということも考えて計画されております。

そして、ワールド・サーフ・リーグ ジュニアコンテストということで、こちらも、いわゆるジュニアですね。この大会が秋頃、予定をされているということでございます。

そして、さらに、スポーツ庁におけるナショナルトレーニングセンター競技別の強化拠点施設の新規指定がございました。令和4年4月1日にスポーツ庁において、静波サーフスタジアムをサーフィンのトレーニングの指定施設として選ばれたところでございます。これはナショナルトレーニングセンター中核拠点では、競技とトレーニングが困難な海洋、水辺系の競技等について、競技別強化拠点としての指定を行いまして、スポーツ医科学サポートを含めたトレーニング環境を支援していくものでございます。

これは、3年後、もう2年後になりますかね。パリ五輪へ向けた日本の強化選手、約150名ほどいらっしゃるそうですが、そうした強化選手が定期的に、このサーフスタジアムで練習する、そうした強化をする合宿といいますか、訓練に対して、国がお金を出して支援するということがございますので、サーフスタジアムにおいても、安定した経営が図れる一つの拠点になったということと、新たなそうした交流関係人口の増加の拠点となるということでございます。

そうした中で、USOPCの米国のオリパラ委員会、前日本代表駐在員のジョン・オオモリ氏が牧之原市を拠点に活動を始めました。牧之原市におけますホストタウン事業に多大な貢献をいただいたジョン・オオモリ氏であります。この4月から牧之原市を拠点に活動を始めて、ジョン・オオモリ氏からは、当市の環境や親切な市民の存在が2拠点生活の大きな決め手となったとおっしゃっています。東京とこの牧之原に事務所を持っているということでもあります。

当面は5月の下旬に来訪を見込む金メダリスト、カリッサ・ムーア選手の招聘に向けた調整を進めていただくということでもありますし、そして、県立相良高校のサーフィン・サークル、グローバル・チャレンジ・サークルとの連携も行っていただけるということでもあります。

同校では、令和4年度から、特色ある学校づくりの目玉といたしまして位置づけたサーフィン・サークルや、英語でコミュニケーションができる人材育成を目指したグローバル・チャレンジ・サークルが創設をされました。この他にも、ダンス、ボルダリング、ビジネス・チャレンジ・サークルの五つのサークルが創設をされたということでもあります。

これは、他の部活とも兼ねることができるということで、非常に趣味やそうしたものが拡大するというようなことで、高校にとっても魅力が出てくる学校になるのかなというふうに思っております。

これから、これらについても、ホストタウン事業で培った人脈を活用するなど、市と緊密な連携を図りながら取り組んでいくこととなります。

サーフィン・サークルにつきましては、14日に静波サーフスタジアムでトレーニングを開始いたしました。その様子は、新聞あるいはテレビのニュース等で大きく報道されたところでございます。

今後の練習につきましても、静波サーフスタジアムのご支援を得て、定期的なトレーニングに励むことになっております。

さらに、今年度の来日を見込みます金メダリスト、カリッサ・ムーア選手は、次世代の選手育成についても力を注いでおりまして、同サークルのトレーニング指導にも当たっていただける意向だというふうに伺っております。

もう一つのグローバル・チャレンジ・サークルにつきましては、ジョン・オオモリ氏を介した北海道インターナショナルスクールとの交流によりまして、英語教育の推進を図っていくということでもあります。

また、同サークルの初めての対外活動といたしまして、24日の日曜日、さがら草競馬大会におきまして、ウクライナ人道支援の募金活動を、国際交流協会と協働で行っていただく予定でございます。

なお、募金をいただいた方には、R I D E ON MAK I N O H A R Aのロゴマーク、ウクライナ国旗のカラーに配色をいたしました特製缶バッジをお配りする予定でございます。

そして、4月11日、月曜日、USAサーフィンのCEOに新しく就任されましたブランドン・ローリー氏とヘッドコーチに就任をされたライアン・シモンズ氏とWeb会談を開催いたしました。

て、今後の交流や選手育成について、情報共有をいたしました。

また、USAサーフィンチームが、牧之原市で実施した2020東京五輪事前合宿につきまして、地元の人々から温かい歓迎をはじめ、当市の魅力に大変関心を持っていただいております。近い将来、牧之原市を訪れたいということも語っていただきました。2020東京大会で培いましたレガシーを継承いたしまして、USAサーフィンチームとの末永い交流を続けていきたいと考えております。

続きまして、新火葬場整備に係る説明会の状況でございます。

先日、川崎区の臨時評議員会を開催した中で、新火葬場の整備と、地元検討会で協議されている防災施設あるいは防災広場等、火葬場周辺のイメージについても説明をさせていただいたところでございます。

火葬場整備に対しましては、特に今回、対象者が評議員というクラスでありますので、特に反対意見が出なかったところでございます。

今後は、関係者と共に、関係する町内会、三つ、四つありますが、説明会を開催する予定であります。今夜、また協議会を開いていただきまして、この日程調整をさせていただくということでございますので、ご承知おきいただきますよう、お願いをいたします。

そして次に、令和4年度の市民意識調査の実施についてでございます。

毎年実施をしております市民意識調査をこの大型連休に実施をいたします。

調査の対象者は、市内在住の16歳以上の市民約3万6,723人の中から、居住地域などに偏りがないような形で無作為に対象1,400人を抽出いたしまして、4月28日、金曜日に郵送にて調査票を送付させていただき、5月12日の木曜日までに返送していただくということでございます。こちらの表にあるような形で、1,400人に送るということであります。

今年度は、紙での回答とインターネットでのWeb回答のいずれかを回答方法を選択いただけるようにしております。協力を得やすいアンケート方法を、これからも試行していきたいというふうに考えています。

議員の皆様も、また身近な方に調査票が届きましたら、回答にご協力をいただきますよう、お願いをいたします。

次に資料5でございますが、シニア世代のスマホ購入費補助事業についてということになります。

情報格差を解消するとともに、情報伝達手段として活用しております市公式LINEの登録者数を増やすために、スマホを初めて購入した65歳以上の市民に対しまして、上限1万円を補助するシニア世代スマホ購入費補助事業を、5月2日からスタートいたしますので、お知らせをさせていただきます。

令和4年4月1日以降のスマホ購入対象者に、市の公式LINEアカウントを登録することを要件といたしました事業となりまして、支払額の方かる書類のコピーを添えて申請をいただくということでございます。

今後、定例記者懇談会での情報提供、自治会での班組回覧、広報まきのはら6月号等をとおしまして、周知をしてまいりたいと考えています。

次に、マイナポイントの支援窓口の開設についてでございますが、こちらは資料6であります。榛原、相良両庁舎の窓口に専用のブースを設けまして、マイナポイントの支援窓口を開設いたします。

スマートフォンの操作に不慣れな方や、デジタル端末を所有していない方を対象に、マイナポイント第2弾の交付申請やマイナンバーカードへの健康保険証のひもづけをはじめとする各種手続のサポートを行うものであります。

こちらは国の補助事業10分の10を活用した単年度事業でありまして、窓口業務の受託事業者のグローバルデザイン株式会社に委託をいたしまして、大型連休明けの5月9日から年度末までの実施を予定しております。

こちらは自治会での全戸配布をするほか、広報まきのはら6月号、市ホームページ、LINE等を通じまして周知をさせていただきます。

少し長時間になりましたけれども、私からの報告は以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（植田博巳君）

ただいまの市長報告に対して、質問とかお聞きしたいことがあったら、挙手の上、発言してください。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

新型コロナワクチン接種の進捗状況等についてという、この中で質問をしたいんですけども、資料4の11ページ、12ページに、進捗状況についてがありますけれども、この接種状況の中で、64歳以下が極端に接種率が低いのが、3回目になります。

というのは、大分緩んだというか、今回、第6波の場合は重篤化しないということで、それはそれでいいんですけども、やはり、そこから多くの高齢者の方に若い人たちから感染というのが非常に心配な部分があったんですけども、これについて、県、また全国、近隣の状況もこのくらいの感じなのかということと、年齢別をもう少し細かく、ざっくりでもいいんですけども、分かりましたらお願いします。

それと、もう1点は、ワクチン接種したことによる副反応ということで、いろいろニュースは聞くんですけども、その中で市民の方からも少しお話を聞いたのは、なかなか医師のワクチン接種によるものだということの証明というのがハードルが高いというようなことで、お話を聞いたことがあります。

なかなかこれって難しい問題だとは思いますが、その辺の、市民の副反応の関係の状況が分かりましたら、お願いします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

健康推進課長。

○健康推進課長（河原瑞穂君）

64歳以下の接種状況につきまして、この情報が、実は非公表になっております。なので、接種率のほうがどうかということは、あれなんですけど、県の64歳以下の平均よりも市の平均のほうが、今は上だということです。2ポイントぐらい上になっております。

近隣の市町村に比べても、うちの市のほうが接種率のほうが高いというような形に、今はなっておりますので、そのような状況になっております。

副反応のことについて、古川のほうから。

○議長（植田博巳君）

総括主幹兼母子健康係長。

○総括主幹兼母子健康係長（古川馨子君）

副反応につきましては、現在、県に副反応の相談センターが設置されておまして、市のほうでも健康推進課で相談を受けているところです。

初回接種の2回目、1回目、2回目の初回接種といたしますが、その2回目接種と比べて、今度の追加接種については、同等ぐらいの副反応の状況ということで聞いておまして、実際に相談で、電話とか、あとは対面で聞く限りでは、同じような感じの相談を受けております。

もし、その後、受診して治療が長引くとかという方がいらっしゃいましたら、健康被害の制度がありますので、そちらのほうを紹介しているという状況です。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

年齢別の64歳以下って物すごい幅が広いものですから、ざっくりで、もし分かったらどんな感じかというのを少し説明してもらいたいということと。

○議長（植田博巳君）

総括主幹。

○総括主幹兼母子健康係長（古川馨子君）

予約システムの状況で、しっかり統計を取れば出るかと思うんですけども、今、感覚的には、60代、50代から若くなるに従って、やはり接種率が下がるような感じですよ。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

分かりました。ということは、64歳以下で、例えば、20歳前後というのと、かなり30%よりも低いという、そんな状況ということですよ。

それで、本当に皆さん一所懸命、大変な中で頑張ってくれて、牧之原市の場合、かなり接種率も高いということで感謝しておりますけれども、副反応に対する状況というのが、やはり本人で

なければ分からないこともあるし、また、相談されたときには丁寧に市または県への引継ぎ等をよろしくお願ひしたいと思ひます。

我々も、もし相談があれば、市のほうへ相談してもらふように言っておきますので、その点をよろしくお願ひします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

総括主幹。

○総括主幹兼母子健康係長（古川馨子君）

副反応の予防接種健康被害救済制度の問合せが、実際にあったのが3名です。3名のうち1名だけは申請が出ていて、調査委員会を開いて、県のほうに進達したという状況です。

以上です。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

接種率について、同じような質問ですけれども、県下、上位をずっと示していて、大変な努力は本当に感謝の思いでおりますが、今回、廃棄する分があるというふうなことでございますけれども、静岡市役所でも窓口業務を中心の職員に接種しなかったために、集団でちょっと出たということで、静岡の市役所の副議長のほうから、牧之原市はどうなっているというふうに前に聞かれて、私のほうでは、廃棄する分をととても大事にしている、窓口業務の職員を中心に職員に打ってくださって、廃棄をほとんどしていないという返事をさせていただきました。

それで、突然、急な用で打てなかった方に対して、職員を中心に今までやってきたと思うんだけれども、そういうことをしている中でも、今回、また廃棄をしなければならない分があるということなんではなかぬ。それが1点。

それと、相良高校のサーフィンクラブが発足しました。それで、サーフスタジアムを中心に、コーチも一緒になってやってくださっているんだけれども、サーフスタジアムは使用料が高いということなんですけれども、高校のサーフィンクラブなんかに対しては、その辺はどのようになっているのか、その辺をお聞かせください。

○議長（植田博巳君）

健康推進課長。

○健康推進課長（河原瑞穂君）

1点目のキャンセル対応につきましては、市の職員でこれまでもやってきました。高齢者の接種と違って、若い方につきましては、なかなか突然キャンセルとか、このコロナ禍ですので、突然、具合が悪くなるとか、そういったことがとても多かったのが現状です。

キャンセル対応をやってきたんですが、ワクチンの1本に取れる量というのが、ファイザーとまた違いますので、キャンセルがとても日に多くなってしまうという、やはり職員のほうに対

応していただくというのが、なかなか困難な時期がやってきたのが事実です。

なので、職員にできるだけ打っていただくというようなことは、やってきた上に、キャンセルというのがありましたので、廃棄が多くなってきたという、そういう状況です。

それと、書いてありますが、5月24日で使用期限が切れております。これについては、それぞれ打つだろうという、そういう見込みの中で厚生労働省のほうに上げていた数になりますが、そういうところで、廃棄が多くなった。

○議長（植田博巳君）

あとは、サーフスタジアムの使用料の。

部付課長。

○部付課長（松坂正年君）

相良高校のサーフスタジアムの使用料ですけれども、14日から、まず最初の活動が始まったという中で、現在はコロナの関係で営業時間を短縮しております。そういう中での、営業が終わってからの使用ということで、サーフスタジアムさんのほうも、地域貢献、地元の学校ということで、協力的に無料金でやっていますけれども、今後、営業時間が、若干、伸びてきた場合に、どのようにするかというのは、現在、学校のほうと検討をしているというところであります。

以上です。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

分かりました。

やはり、サーフィンなんていうと、学校の先生では、多分、教えられないと思うんですよ。だから、そういったコーチなんかをお願いを当然するわけですよ。そういった分の、支払う、そういうのはどういうふうになっているのかしら。

○議長（植田博巳君）

参事兼課長。

○部付課長（松坂正年君）

コーチの関係でありますけれども、通常の部活動とは違うという部分で、専門的な知識で、今回、サーフスタジアムにおきましては、経験者、それと初心者ということでおりますので、前回は3名程ついたわけなんですけれども、今後については、一人ずつつけるとかという部分で、サーフスタジアムが好意でやっただけでいる。

ただ、学校のほうとしましても、外部指導者的なことでの県の予算というものがあるということですので、今後はそういった部分でも検討していくというお話でいただいております。

○13番（中野康子君）

ありがとうございました。

○議長（植田博巳君）

ほかに。

原口議員。

○10番（原口康之君）

1点、今のワクチン関係で少し質問をさせてください。

市内の外国人の労働者、漁業の関係の労働者になるんですけれども、この方も3回目の接種、始まって最初の頃だと思うんですけれども、県外と県内と多少、県外にも港に入ったりする関係でやっぱり対応が変わっていて、若い労働者の方ですので、64歳という枠にとらわれている部分もあると思うんですけれども、なかなか順番的に早くやってもらえないという意味で、結局はそれを対応していただけるほかの市町に、接種券がなくてもできるような状況で接種していただいたということなんですけれども、その辺の柔軟な対応というのは、してもらえるのかどうかというのを、その辺を少し確認させてください。

○議長（植田博巳君）

総括主幹。

○総括主幹兼母子健康係長（古川馨子君）

漁業の漁師さんたちで、停泊した先の港のほうで接種の融通をとということで、通知も初回接種のときにも来ていましたので、実際に相談がありました。

なので、予約の入るところでご案内をしたり、あとは、ちょっと長く滞在できるときに打っていただくとか、いろいろな調整をさせていただいていましたので、また、今後もあるようでしたら、ご相談いただければと思います。

○議長（植田博巳君）

絹村議員。

○3番（絹村智昭君）

それこそ、コロナワクチンの、先ほど副反応、副作用が出た場合の補助が出るよという、その補助の部分をちょっと確認になるかと思いますが、教えてください。

○議長（植田博巳君）

総括主幹。

○総括主幹兼母子健康係長（古川馨子君）

健康被害救済制度というものが国のほうでありますので、もし、治療が長く続いたとか、障害が残ったとか、最悪は死亡されたとかという方につきましては、申請を市のほうに上げていただいて、市のほうで調査委員会を開かせていただいて、その内容を県、国のほうへ進達していくという形で、そういう制度があります。

○議長（植田博巳君）

絹村議員。

○3番（絹村智昭君）

ありがとうございます。これは全国统一ということですね。分かりました。了解です。

○議長（植田博巳君）

ほか、ございませんか。

木村議員。

○6番（木村正利君）

1点、お伺いします。

令和4年度の市民意識調査の実施についてのところで、参考なんですけど、各年代のところの抽出率が10代のところで100という抽出になっているんですけど、総務建設委員会でも言ったんですけど、新しく成人が18歳に年齢を下げたという中で、ぜひ意識調査についての人数も、10代の方をもうちょっと増やしていただいて、そこら辺から新しいいろいろな意見を取り入れたらなと私は感じるんですけど、そこら辺についてはいかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

ただいまのご質問についてなんですけれども、そもそも、増やしてこの人数ということになっております。

以前、委員会の席でちょっと説明させていただいたことがあったんですけど、回答率が50%ちょっとあるんですけども、年代であまり偏りのないような回答率になるようにサンプルの数を少し調整させていただいているということで、決して、各それぞれの年代の、どこかの年代の意見を多く集めるという趣旨のものではないので、こういったサンプルの配分になっているということになります。

○議長（植田博巳君）

木村議員。

○6番（木村正利君）

例年の調査の仕方だと思うんですけども、何度も言うように、今年から4月1日をもって18歳が成人年齢に達したというところの中で、あえて今、その人数を入れていただいたら、また、いろいろな意識が改革されるんじゃないかなという意見で、言わせていただきました。

それについて、いかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

18歳ということなんですけれども、基本的には16歳以上を対象にしているということで、お配りした市長資料の要旨の6分の5ページのところに少し表が付けてありますが、対象となるその年齢の住人が1,500人ほどいらっしゃるんですけど、それに対して100ということで、割合からすれば、分母からすれば妥当な数字で拾っていると思うんですけど、いかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

濃く取っているというのも、ちょっとおかしな話で、すみません、各年代で、これまでの経験からしますと、やはり分かりやすいところ言えば、70歳以上の年代は回答率が高いです。それで、20代、30代は低いです。そういったところを少し勘案しまして、回答率のほうをちょっと狙っているというところが。

18歳以上ということで、特にその意見を集中的に集めるという趣旨のものではないので、すみません、こういった年代ごとのサンプル数で、回答率をもって全体の意見を確認するという、そういう趣旨となっております。

○議長（植田博巳君）

木村議員。

○6番（木村正利君）

いろいろな意味で、今、市長が代弁していただいたので分かるんですが、あえて私が言っているのは、18歳の方に、やっぱり政治的な関心を持っていただくという中では、10代の方の中で、ちょっと変わったというか、そこら辺も加味した人数が、100が120になってもいいものですから、そういうことで私は意見を言わせていただいたので、そこら辺も今後、いろいろな意味で加味していただければなということで、理解しました。

ありがとうございます。

○議長（植田博巳君）

ほかには、ございませんか。

名波議員。

○4番（名波和昌君）

2点ほど、お願いします。

まず1点目は、オリンピック等、サーフスタジアムの建設で、サーフィン関係の部分の全国に対するアピールって、相当出たと思います。

そういったことから、このホストタウン事業であるとか、サーフィンの大会の開催とか、いろいろな部分が増えてきて、当然、ここにある相良の関係人口、交流人口の拡大を推進されていくというのは十分理解できるんですが、その次の段階、交流だけではなくて、牧之原市に例えば定住していただくとか移住していただくとか、そういうところにつなげていく必要があると思うんですね。

そのために、何を行政のほうとして考えていらっしゃるのか、今、もし案があれば、そういったところを教えていただきたいし、ぜひ、定住移住についてのいろいろな案を出していただければなということが1点。

それと、もう1点は、先ほどのワクチン接種のところなんですが、5歳から11歳の接種率が10%以下ということになっているんですが、この要因というのが、接種券の配布による要因なの

か、あるいは保護者さんのほうから、あまりワクチンを接種させたくないというような、そんな違う要因なのか、ここを増やしていく対策をどのように考えていらっしゃるのか、その点について、お聞かせください。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは私のほうから、1点目のサーフスタジアムを中心とした関係人口、交流人口の拡大、これの今、取組を行っているわけですが、それを、いかに今後、移住定住に結びつけていくかと、こういうご質問だというふうに思いますが、これまでも何回となくお話をさせていただいているとは思いますが、牧之原市は15キロの海岸線がございます。確かに津波という、第4次被害想定からすればマイナス要因でありますけれども、この自然環境の良さからすると、逆にメリットといえますか、武器になるというふうに思っていますので、私としては、この15キロの海岸線をさらに、静波だけではなくて、さがらサンビーチ、それから鹿島や須々木や、そして地頭方の、先ほどもお話をさせていただきました漁協の活用、こうした沿岸部の活性化事業に、これから力を入れていきたいというふうに思っております。

様々なところに拠点もつくりながら、まずはそういった関係人口を築きつつ、最終的には、ここに住んでみたいというような形での誘導ですよね。そういったことで、ワーケーションも含めて、そういった取組をしていきたいというふうに考えています。

さらには、移住定住の助成事業についても、これまでも行ってまいりまして、相当な補助、助成をさせていただいて、市内からの流出を防ぐとともに、新規の移住者を取り込んでいるというふうに思っているところでございますが、昨年度からは市外からの移住者に対してのかさ上げですとか、そして今年度からは、今、非常に燃油高、電気料も上がっていますので、省エネ蓄エネ、それから気密のゼロエネルギー住宅ですね。そうしたものについて、国の補助プラスアルファの最大25万円の補助というのを付けさせていただいて、総合的に今、建設部のほうでは移住定住策をやっていますが、こうしたサーフスタジアムを核とした沿岸部の活用ですよね、魅力の発信、そうしたものを含めて、牧之原市はJRはないものの自然環境に富んでいるというところを発信していくということで、今、取り組んでいるというふうにご理解をいただきたいというふうに思います。

○議長（植田博巳君）

健康推進課長。

○健康推進課長（河原瑞穂君）

5歳から11歳のワクチン接種につきましては、国のほうで、これは努力義務ではないというようなことで進めているわけですが、要因なんですけれども、以前、5歳から11歳を持つ保護者さんへのアンケートを取ったときに、3割ぐらいの方が接種をする、あるいは検討するというようなことで、お答えがある中で、第1クールをやったところまででは約9.76%いっているわけです。

が、今現在、第2クール、第3クールといったところで予約があった方が、1,000人分に対して約1割ぐらいな形で予約が入っている状況です。

まだ、デメリットだったりメリットというところを、市のほうでは、まきはぐだったり、ホームページにお知らせをした中で、親御さんに判断していただくというような方針でありますので、まだ、接種の第2クール、第3クールまでには期間があるものですから、よく検討していただいて打っていただくというような、そんなことで思っております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

名波議員。

○4番（名波和昌君）

強制をすることは、なかなか難しいことだと思いますが、今おっしゃられたメリット、デメリットのところを十分に周知していただいて、できるだけ健康維持ができるような、そんなところの動きを、また、していただければと思います。

よろしくをお願いします。ありがとうございます。

先ほどの、市長からのサーフィンの関係のところなんですけど、今、市長がおっしゃったように、定住移住というところにつなげていけることが一番大事なかなと思っております。

そこに、牧之原市の場合、須々木の地区もそうなんですけど、空き家がどんどん増えているところがありますので、そういった空き家の活用も併せて、そこに組み込んでいければ、また空き家対策の一つにもなるのではなかろうかなというふうに思っておりますので、ぜひ、いろんな角度からお願いをしたいと思っております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

谷口議員。

○2番（谷口恵世君）

グローバル・チャレンジ・サークルについてですけれども、これは相良高校のほうで、今から推進を図っていくということだと思うんですけれども、英語教育に関しては、物すごく、やはり大事なことですし、今後、再編に向けての特色ある教育というところにインターナショナルスクールって、すごく特色がある教育だと思うんですけれども、そういったものも牧之原市は目玉にしていけるということが大事だと思いますので、ぜひ、相良高校だけではなく、今後、牧之原市全体に展開していただけると、すごくいいなと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

ありがとうございます。

この相良高校の取組を一つの参考にしまして、市内の小中学校、GIGAスクールのほうで、いろいろな面で、オンラインのこともできますので、学校にとどまらず、いろいろなところと、できれば海外とか様々なネットワークを通じながら進めていくように努力していきたいと思いません。

ありがとうございます。

○議長（植田博巳君）

石山議員。

○1番（石山和生君）

ジョン・オオモリ氏が牧之原市を拠点に活動を始めたという件についてです。

実際に、具体的には牧之原市でどういったことを進めていくつもりでいらっしゃるのかを、もう少し詳しく聞きたいです。

○議長（植田博巳君）

情報交流課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

ジョン・オオモリ氏につきましては、ご承知のとおりといいますか、先ほど説明させてもらったとおり、4月から、今、事務所を構えて業務を始めたところです。

その中で、やはり今回のオリンピック等で培った、非常に人脈も広いということもありますので、そういった経験とか人脈を生かして、スポーツや文化交流で牧之原と海外とのかけ橋となるようにということで、今、業務を行っていただいています。

当面、今おっしゃられた、先ほど出てきているカリッサ・ムーアの金メダリストの招致及び相良高校を中心とした英語教育の推進、そういったことを取り組んでいただくということで伺っています。

一時、今、東京に戻りましたけれども、また明日から、この牧之原市ということで、先ほどから少し話が出ている、やはり移住の一つのケースだと思います。

その中で、やはり職と、そして住むところというのは非常に大切なので、今、ジョンさん自身も市内を回りながら、どこに住もうかというところで考えておりますし、そういったところを、ぜひ行政としても後押ししていきたい、そんなふうに考えております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

石山議員。

○1番（石山和生君）

ありがとうございます。

思っているのは、市との連動みたいなところは分かるんですが、オオモリさんに聞けばいいことだと思うんですけども、どのように、お金は既にたくさんあって、資金繰りとか、そういったところって、牧之原を使ってビジネスを使って盛り上げていくみたいな、そういった観点なの

か、それとも行政との連携を強くしていくためにいらっしゃってくださっているのか、そちら、どっちなんだろうというのが、ちょっと気になっております。

○議長（植田博巳君）

情報交流課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

もちろん、最初のきっかけは行政とのつながりの中で、今回のホストタウン事業に携わっていただいたことになっています。

ただ、ジョンさん自身も、グローバルでいろいろなことをやっていきたいという思いを持っていますので、例えば、市内の企業と組んだりしながら、様々な展開を本人は今、考えている、そういうように聞いております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

石山議員。

○1番（石山和生君）

ありがとうございます。

前回のい〜らでの講演会を含めて、私もスポーツ観光、とてもあり得る話だなと思っています。

行政として、そういった動きをしてくださったときに、サポートといいますか、そういった点と違って、考えていらっしゃるのでしょうか。

○議長（植田博巳君）

情報交流課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

行政としては、令和3年度中に、繰越にはなりますけれども、委託事業で、様々な今出てきたもののメニューを連携してといいますか、その仲介役としてやっていただくというようなことを出しております。

もう一方で、やはりジョンさん自身も生活をしていかなければならない中で、牧之原市、市役所といいますか、牧之原市ということで、様々な皆さんと、例えば、商工会の皆さんであったり、そういった皆さんと顔見知りになっていただいて、その中にビジネスチャンスを見つけていくということが、お互いのウィンウィンの中で、これから大切になってくると思います。

なので、私たちとしては、できるだけジョンさんを知ってもらうというような活動で、今度の草競馬のときにも、少し、先ほど出たグローバルチャレンジの募金活動にも、少しお手伝いをいただきながら、この市の状況をいろいろ知ってもらって、その中にジョンさんの経験が生かせるところというところを、ぜひ民間の方たちともタッグを組んでやっていただく、そんな状況で、今、考えております。

○議長（植田博巳君）

絹村議員。

○3番（絹村智昭君）

それこそサーフィンの関連なんですけれども、これから、大会とか交流人口が増えていく中で、宿泊に関して、どういう対応を市として取っているのか、教えてください。

○議長（植田博巳君）

部付課長。

○部付課長（松坂正年君）

現在、大会等の宿泊につきましては、サーフスタジアム周辺の宿泊施設が中心になっておりますけれども、市内の十何軒かの民宿等がありますので、そういったところへの誘導も含めて、ただ、施設そのものの、今の現状でいかという部分もありますので、そういった部分の改修等もお願いしながら、受入体制のほうを整えていければと考えております。

○議長（植田博巳君）

絹村議員。

○3番（絹村智昭君）

セキュリティーという部分もあるかと思います。

そういう中で、市内には宿泊施設がたくさんありますので、いいバランスを取りながら、やっていただければなと思います。

私からは以上です。ありがとうございます。

○議長（植田博巳君）

ほかはございませんか。

どうぞ、そのほか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

教育長にお伺いします。

県の人事案件ですので非常に難しいんですけれども、教職員の数が牧之原市は6名足りないというふうに、今年度、お聞きしております。

専門的な教科の教師がいないということは、大変、子供たちにとって不幸なことだというふうに思いますけれども、次年度にかけまして、どのような対応をしていくのか、県の人事ですから、非常に難しいとは思いますが、教員が全国的に足りないということも聞いていますけれども、そのような中で、どのようなお願いをしていくのか、その辺をちょっと聞かせてください。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

欠員状況につきましては、前回、お話をさせていただいて、現在も市内の学校の中では、小さな学校においては教務主任が学級担任を兼ねている、つまり1人、人員が足りない中で運営をしているという状況にあります。

講師の確保ということで、本当にいろいろな、全県くまなく、いろいろな教育委員会ですとか、あるいは様々な大学ですとか、お願いをしているんですけども、どこも同じという状況であります。

そういう中にありまして、先日、静西の教育事務所の教育長会議がありまして、これは県にお願いする、どこの市町の教育長も、採用を含めてしっかりそこに対応をするようにお願いをしたところでもあります。

採用試験のほうも既に応募のほうというか、始まっていて、ここの算定も年度末の退職者、再任用、さらにいろいろなことを考案しながら採用者数も県のほうで今、決めているんですけども、そこがぴたっと今年のを補うだけのあれがいくように、ここの採用の方向もお願いしました。あと講師の確保。これも県のほうの登録という制度があるんですけども、ここもなかなか追いつかない。いろいろな要素が絡み合っているということですけども、そうはいっても、市としても、ここを何とかクリアしなくてはいけないので、引き続き、既に退職されて、現役を引退された方についても、ぜひお願いするというので、個別に教育委員会だけではなくて、各学校の校長から職員から、お願いをしてやっているところです。

ただ、今は本当に厳しい状況です。これは全然変わっていないものですから、申し訳ございません。そこら辺、働きかけとしては、そういう努力を続けていくということでもあります。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

特に専門的な理科の教師が非常に少ない。それで、牧之原市の場合は理科の補助員みたいな方たちが、結構、活動をしてくださっています。

そういった中で、実験とかそういうのが遅れるようなことになると、やはり受験なんかに響いてくると思うんですよ。ですから、ぜひ中学のほうの専門の先生たちには、充実した形で、ぜひ子供たちに学んでいってほしいなというふうに思いますので、お願いしたいと思います。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

ありがとうございます。

本当に、専門的な教科ですとか、やっぱりどうしても座学になってしまうといけませんので、本当にそこは力を入れていかなくちやいけないと思います。

現在のそこの講師も、非常勤ですとか支援員のところは、皆さん結構、埋まって、お願いできるんですけども、学級担任というかフルで勤めてくださるところが、皆さん、そこはご遠慮願いたいということで、どうしても無理なものですから、そういったところを何とか打破するように、今、非常勤あるいは支援で働いて、免許がある方については、そちらのほうに回っていただく努力を重ねていきたいと思っています。

以上です。

○議長（植田博巳君）

そのほか、ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので、これで市長報告を終了いたしたいと思います。

ここで1時間たちましたので、10時15分まで休憩いたします。よろしくお願いします。

〔午前 10時02分 休憩〕

〔午前 10時10分 再開〕

○議長（植田博巳君）

それでは、休憩前に引き続きまして、議員全員協議会を再開いたします。

3 議長・関係議員・委員会報告 （1） 会議等の結果

○議長（植田博巳君）

次に、議長・関係議員・委員会報告を行います。

（1）会議等の結果について、報告をお願いします。

最初に、私のほうから報告をさせていただきたいと思います。

3月22日、御前崎港の開港50周年記念事業実行委員会、これはWeb開催となりました。

内容的には、昨年、令和3年度の事業について、開港50周年記念誌の作成の配布を400部行ったということです。

それから、今年度、令和4年度の事業計画としては、歳入は、一応、ゼロということで、前年度の繰越金が1,466万円余ございまして、歳出繰越金と同額で行うということで歳入はゼロで、支出が先ほど言った1,466万円余ということでございます。

コロナ禍で、昨年、イベントが中止して繰越金が残ったので、これで対応するという内容でございまして。

それから、3月25日、第2回静岡県原子力発電所環境安全協議会本会議、これは書面開催となりました。

議案としましては、令和3年度の静岡県原子力発電所環境安全協議会幹事会の事業についてという内容で、1番としまして、令和3年度浜岡原子力発電所周辺環境放射の調査結果、中間報告の確認、浜岡原子力発電所からの環境への影響は内容的に認められなかったという内容です。

次に、令和3年度の静岡原子力だよりの発行を四半期ごとに発行いたしましたということで、発行先は御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市の全戸に発行したという内容でございました。

次に、3月26日、公立保育園運営引継ぎ式、これについては全員参加していただきました、ありがとうございます。

引継者である榛原学園と社会福祉事業団には、市の保育理念を継承しつつ、法人の独自性を出して多様な保育ニーズに対応し、質の高い保育の提供を期待をしております。

次に、3月27日、熊本県人吉市新庁舎落成式と市制施行80周年記念合同式典に出席いたしました。

式典には、金子総務大臣、蒲島熊本県知事をはじめ56名の来賓が参列いたしました。

市民を守るための安心安全、来庁者や環境に優しい、親しみを感じる、機能性、効率性を重視した経済的な、そしてICTを活用した行政サービスの向上をモットーとした、目的とした庁舎が完成しております。

基礎は免震構造、ライフラインが途絶しても3日間は業務ができる防災拠点というような位置づけにもなっております。

工期が約2年、地上5階建て、工事費約41億円という事業で、庁舎が完成しております。

市内は、豪雨から空き地が目立つようにはなっていますが、復興により、以前の町並みは戻ってきているというふうに見られました。

次に、4月1日、令和4年度教職員着任式がございました。

中野文教厚生委員長と出席いたしまして、新任の教員が6名、市外から24名、計30名の方の教職員が着任をいたしました。

次に、4月3日です。牧之原市消防団辞令交付式がございました。

令和4年度は、45名の新入団員が入団をしていただきまして、総勢437名の団員となっております。本部として30名、女性団員が18名、団員が389名というようなことで、前年度が472名でしたので、35名減というような内容でございます。

次に、4月7日、春の交通安全運動出発式・巡回広報がございました。

議員の皆様におかれましては、早朝よりありがとうございます。

次に、4月8日、牧之原市遺族会総会に出席いたしました。

ご遺族の福祉向上と処遇改善への活動のお礼と3月4日にロシアのウクライナ軍事侵攻を非難する決議で、恒久的な世界平和の実現のため、行動していかなければいけないというような内容で挨拶をさせていただきました。

4月9日、相良原子力防災センターの完成式に出席いたしました。

皆さんも出席していただきまして、ありがとうございます。防災拠点として防災研修訓練に利用して、いざというときの拠点になればいいということで、挨拶させていただきました。

次の日の4月10日、勝間田公園つつじ祭りに出席いたしました。

中野議員、大石議員、加藤議員と4名で出席させていただきました。神事後、勝間田小学校五、六年生のソーランとか催物が行われて、ミヤマツツジがすごくきれいでしたので、ぜひ皆さんも行って見ていただきたいと思います。

次に、4月12日、偉人マンガ「田沼意次物語」寄贈式に中野文教厚生委員長と出席いたしました。

小学校4年生から中学生まで全員に配布されるということで、あとは図書館へ配架されております。全部で4,000部を印刷しております。この費用は全てB & G事業財団からのお金を充当しているということでございます。

以上、私からの報告を終わります。

村田副議長。

○15番（村田博英君）

3月23日、榛原総合病院の例月出納検査がございました。

一般会計及び病院事業会計の現金出納の状況、それから各伝票のほか金券とも問題ございませんでした。

以上です。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

先ほど、4月1日が教職員着任式で、文教厚生委員会委員長としてとおっしゃったと思うんですが、私は牧之原市菊川市学校組合議長として出席しておりますので、お願いします。

○議長（植田博巳君）

すみません。そのようなことで訂正させていただきます。

ほかはないですよ。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

以上で議長・関係議員の会議等の結果については、終了いたします。

3 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会運営委員会のほうから報告をお願いいたしたいと思います。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会です。4月5日についての報告を行います。

まず、アとしまして、2月定例会の振り返りということで、これについては、一般質問について意見がありました。

一つは、質問通告と実際の質問との内容に差があったのではないかと指摘であります。

そして、「ありがとうございます」とか「お願いします」とかいうのは不要でありますので、こうした言葉は使わないほうがいいのではないかとご意見がありました。そして、また、質問の前置きは短くということも指摘をされました。

そして、これは一般質問に関して、指名するに当たって、まず挙手をして、「議長」と言って、

「何番、何がし」というようなことで議席番号と氏名を言って、それから発言をしていくということになるんですけれども、そうした基本的なことがなされていなかったというような指摘がありましたので、ご注意願いたいと思います。

以上ですけれども、さらに付け加えて、議長から何か一言お願いします。

○議長（植田博巳君）

振り返りについて、私のほうから、お願いをしておきたいと思います。今、委員長のほうからご報告がありましたけれども、重複するかもしれませんけれども、よろしくお願いします。

まず最初に、議場での振る舞い、やり取りの件についてでございます。大石委員長から話がありましたけれども、一般質問を行う際には、議長から指名された後、自席で議席番号と氏名を述べた後に演台に登壇することになっておりますけれども、名前だけしか言わない、あるいは座ったまま返事のみというケースがございました。これについては、申合せ事項の中に、発言の要領が定められておりますので、いま一度、申合せ事項を確認していただきたいというふうに思います。

それから、演台で質問を始める前に、冒頭で通告内容とは無関係の話題を挨拶する人がおりました。事項の問題などは開会前に議長のほうから代表して挨拶をしていることから、速やかに通告に入ってもらいたい、当局との実のある政策議論を行うようにお願いしたいというふうに思っております。

3点目は、質問内容が、単に事業内容を確認する程度であるなど、深掘りできていないケースが多かったと感じております。いわゆる、窓口で聞く程度の簡単な質問は、窓口質問と言い、議場で行う一般質問には、ふさわしくないものである。議員自身がしっかりと調査研究をして一般質問に挑んでもらいたいと思います。これについても議員必携にも書いてございますので、一読していただきたいと思います。

今回、当局のやり取りの中で、「お願いします」「ありがとうございます」といった発言が多くございましたけれども、これについては、議員必携にしっかりと、その辺のことは書いてございますので、議員必携の一般質問の項目、発言というところがございますので、一読していただきたいと思います。

あともう一つ、通告書についてでございますけれども、通告書の通告内容に比べて、再質問の内容が、若干、乏しかったように感じております。当局は通告された一般質問に対して、きちんと答弁できるように事前にしっかりと準備をしておるため、一般質問をする場合には、しっかりと調査研究した上で臨んでいただきたいというふうに思います。

ちょっと項目が多くなりましたけれども、今後の一般質問の参考にしていただいて、これらの内容は、議員必携、申合せ事項に書いてありますので、また一読して臨んでもらいたいと思います。

それから、後で報告がございますけれども、一般質問に関する研修も予定しておりますので、それを参考をお願いしたいと思います。

以上です。

○14番（大石和央君）

引き続きまして、報告をさせていただきます。

この議員研修につきましては、5のその他のところで行いますので、そちらでお願いします。

それから、ウの視察研修についても、これは協議事項ということになっていきますので、そちらでお願いしたいと思います。

そして次に、陳情書の取扱いについてということで、3件の陳情がありました。

1件目は、補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める自治体意見書の採択についての陳情。

そして2件目に、国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情。

そして3点目に、女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情がありましたけれども、いずれも郵送によるものでありますので、申合せ事項に基づきまして、資料配布といたします。

そして、次のオのその他なんですけれども、これも5のその他のところで報告をいたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 （3） 総務建設委員会

○議長（植田博巳君）

次に、総務建設委員会からの報告をお願いいたします。

○12番（太田佳晴君）

総務建設委員会の報告をいたします。

3月24日に総務建設委員会を開きまして、各市議会の総務建設委員会から出された提言書の検証を年度別、全て行いました。各委員から、いろいろ建設的な意見をいただきました。

それをもって、4月11日に提言の振り返りということで、取りまとめをして報告をさせていただきました。その中には、過去の提言の振り返りということだったんですけれども、振り返りとどまらず、建設的で提言に政策提言の活用が考えられる意見も多数ありましたので、その辺を仕分をしまして、今後、行政へ改善を要請すべき意見、また提言に活用できる意見、この辺をまとめて報告をさせていただきました。

それをもって、今後、市民会議等を行っていくわけなんですけれども、今後予定する市民会議について、どのような目的で行っていくか、その確認をさせていただきました。あくまでも政策提言に向けた建設的な意見で、市民の皆さんとの意見交換の場であることを留意、確認するようにしました。

それと、行政視察についてですけれども、これについても目的の確認をさせてもらいまして、

今後、7月から8月の頭ぐらいになるかと思うんですけれども、総務建設委員会として、2泊3日の視察研修を予定することとなりました。

視察委員として、副委員長の原口委員、そして木村委員、名波委員にお願いして、3人で今後、視察先の候補を決めて、全体で決めていきたいと、そんなふうに考えております。具体的には、今月の22日までに各自希望する視察先を提出しまして、全体で協議しながら予定を立てていきたいと思っております。

それともう1点は、新しい国の政策なんですけれども、みどりの食料システム戦略、これは持続可能な食料システムの構築などを目的としておりますけれども、これについて、総務建設委員会として勉強会をとということで、国のほうに要請をしておりました。5月19日の木曜日の午後ですけれども、関東農政局の静岡拠点から秋山地方参事官という方がお見えになって、研修を行いますので、文教の皆様も、もしご都合がつかましたら傍聴をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

○議長（植田博巳君）

続いて、文教厚生委員会、お願いいたします。

○13番（中野康子君）

文教厚生委員会のほうから、報告させていただきます。

3月24日に、所管事務の調査であります人口増加につながる魅力ある子育て施設について、福祉子ども部の子ども子育て課、子どもセンター、保育園民営化推進室の3課から説明を受けました。事業概要の説明を受けました。各課ごとに説明を受けまして、質疑という形で行いました。

そして、4月12日に、前回3月24日に行いました勉強会におきましての振り返りをいたしました。お一人お一人から意見を述べてもらいまして、調査研究していくべきことをしっかりと考える、そして課題については、一人一人に述べていただきました。

もう一つのテーマであります、高齢者施設に関する勉強会を4月27日に計画をいたしております。明日、4月19日、長寿介護課に正副でお願いに行ってみます。

行政視察のほうでございますけれども、やはり7月の末から8月にかけて、当委員会でも行政視察を行いたいと思っております。視察委員に副委員長と加藤委員、松下委員をお願いをいたしております。

以上であります。

3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長（植田博巳君）

続きまして、議会広報特別委員会、お願いします。

○10番（原口康之君）

議会広報特別委員会です。

最初に、原稿を提出された議員の皆様、ご協力ありがとうございました。

委員会については、3月24日、第2回、4月4日、第3回の委員会を行い、発行に向けての編集と、あと一般質問の記事の掲載についての検討を進めております。

以上になります。

3 議長・関係議員・委員会報告 （6） 議会改革特別委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会改革特別委員会、お願いいたします。

○15番（村田博英君）

3月22日、2回目の議会改革特別委員会の会議を行いました。

議会基本条例の検証を行っておりますが、本日もこの後、引き続き開く予定でございます。まずは検証を済ませてから、テーマということで行いたいと思います。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

4 協議事項 （1） 令和4年度視察研修について

○議長（植田博巳君）

次に、協議事項に入りたいと思います。

（1）令和4年度視察研修についてでございます。

視察研修につきましては、アからオまで、議会運営委員会、各常任委員会、議会広報特別委員会、議会改革特別委員会、友好都市等表敬訪問、青森県三戸町ということで計画しておりますので、よろしくお願いします。宿泊は1泊2日とか、そこに書いてあるとおりでございますので、お願いしたいと思います。

この件については、これでよろしいですか。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

私のほうから付け加えて説明させていただきます。

今年度は、全ての委員会で予算がついております。それで、今、議長が説明しましたように各委員会で1泊2日、2泊3日等で予定がされております。

それで、総務建設委員会、文教厚生委員長のほうから、先ほどお話がありましたけれども、既に視察先の選定と日程等の動きに入っております。

ほかの委員会につきましても、視察先への受入申請や業者の手続きはこちらでやりますけれども、

余裕をもって早めに決めていただきまして、決まりましたら事務局のほうへ、お知らせをお願いしたいと思います。

それと、オの友好都市等表敬訪問の2泊3日の青森県三戸町なんですけれども、こちらは10月に予定しております議会報告会、こちらが終わりました、青森のほうへ行きたいと考えております。それですので、また後で資料の6で今年度の議会スケジュールをつけておりますけれども、日程的に2泊3日で動けるところが11月14日、15日、16日、この3日になるのかなと思っております。まだ決定ではありませんけれども、11月14日から16日に、この青森県三戸町のほうへ行く予定になるかもしれませんけれども、また決まりましたらお知らせをしたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

以上ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

5 その他 (1) 令和4年度議会事務局の事務分担について

○議長（植田博巳君）

次に、5のその他に入ります。

(1) 令和4年度議会事務局の事務分担についてでございます。

事務局次長、お願いします。

○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、資料の4をご覧ください。こちらですけれども、令和4年度議会事務局の事務分担となっております。

各委員会の名称の横にそれぞれの主担当、副担当、職員の名前が書いてありますので、また、ご確認のほうをよろしくお願ひします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

令和4年度分の事務分担はこのようなことで対応していただきますので、よろしくお願ひいたします。

5 その他 (2) 視察研修について

○議長（植田博巳君）

(2) 視察研修について、資料5のほうで次長のほうから説明願ひします。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、資料の5をお開きください。

こちらのほうですけれども、今週の金曜日になります。4月22日9時30分から午後4時10分と

いうことで、中部電力浜岡原子力発電所のほうの視察に向かいたいと思います。

相良庁舎の玄関前に8時45分に集合、出発でよろしくお願ひしたいと思います。市のマイクロバスで、皆さん一緒に出発したいと思います。

視察内容につきましては、次のページの議員視察研修スケジュール（案）ということで、ここに時系列で書いてあります。班編成としては2班編成で、また当日にお示ししますが、2班で分かれて動くような形となります。

それで、当日の注意事項ですとか持ち物ですけれども、1ページ目の5番のその他のところを見ていただきますと、服装は作業服をお願いします。ノーネクタイで構いません。身分証明書、運転免許証でありますとか、マイナンバーカード等でありますとか、こちらは必ず持参をしてください。

当日は昼食を用意しますので、当日の朝、集合した段階で昼食代として1人1,000円を集金したいと思います。

よろしくお願ひします。以上です。

5 その他 (3) 議員研修会について

○議長（植田博巳君）

次に、(3)の議員研修会についてをお願いします。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

続きまして、議員研修会ですけれども、日時が5月9日の13時から15時、こちらの4階大会議室で行います。

内容は、「令和4年度牧之原市議会議員研修～一般質問編～」ということで、講師につきましては、TKDコンサルタントの代表の高田様をお願いしてあります。こちらは、対象者が全議員様となっております。

こちらにつきましては、報道提供もさせていただきます。

よろしくお願ひします。以上です。

5 その他 (4) 議会勉強会について

○議長（植田博巳君）

次に(4)議員勉強会について、これについても次長お願いします。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

続きまして、議会勉強会ですけれども、日時が5月12日、午後1時30分から午後3時まで。こちらは2月に予定していました経産省の関係の勉強会になります。

内容は、「第6次エネルギー基本計画の概要について」ということで、経済産業省資源エネル

ギ一庁の原子力立地政策室長による説明を受けます。こちらにつきましては議員の皆様全員と、当局側は部長・課長職にも声をかけてあります。

こちらにつきましても、報道提供させていただきます。

以上です。

5 その他 (5) 議員研修会について

○議長（植田博巳君）

次に、(5) 議員研修会について、これについても次長お願いします。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

次の議員研修会について、日時が5月20日の金曜日、午後1時半から午後4時半まで。こちらでも4階の大会議室。

内容につきましては、これも2月に予定しておりました流れておりました「対話の必要性～ファシリテーションスキルを使った場づくり～」ということで、講師につきましては、Musubiの代表の原口佐知子様をお願いします。対象者につきましては、議員の皆様全員です。

こちらでも報道提供をさせていただきます。

以上です。

5 その他 (6) 市議会におけるクールビズの実施について

○議長（植田博巳君）

(6) 市議会におけるクールビズの実施についてということで、事務局お願いします。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

市議会におけるクールビズの実施についてということで、当局側も市のほうでは実施予定期間としまして、令和4年5月1日から10月31日までをクールビズの実施期間としております。

市議会におきましても、当局側と同じ期間にクールビズを行うということで、議運のほうでも決めさせていただきましたので、同じ期間でクールビズを実施しますので、ご協力のほうをよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

5 その他 (7) 令和4年度議会スケジュールについて

○議長（植田博巳君）

次に、令和4年度議会スケジュールについて。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

資料の6をご覧ください。

こちらに、令和4年度、令和4年4月から令和5年3月までのスケジュールを最新のものを入れさせていただいております。

先ほど言いました11月の予定のところなんかも、また見ていただきますと分かると思いますけれども、今後、スケジュールが追加されていくことがありますけれども、全協のタイミングで2か月分くらいの最新のものを出していくような形で今年度も示させていただきますので、年間の予定として、こちらのほうも皆さん、スケジュールのほうを入れておくようによろしくお願いいたしますと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

このスケジュールに関してですけれども、内容的に11月の予定の中で、動く可能性のあるものがございますので、承知おきください。

中野議員。

○13番（中野康子君）

先ほど、議長のほうから11月の予定で動く可能性があるというお話がございました。畑地総合組合のほうの研修と11月10日、11日が重なっております。そこで、スケジュールの変更をちょっと先なものですから、お願いをしてございますけれども、その辺を考えていただいておりますでしょうか。

○議長（植田博巳君）

この辺は考えております。議会運営委員会のほうで、最終的にお願いして決定していきたいなと思います。ですから、この10日、11日の総務建設と文教厚生委員会のほうが8日、9日というような形で動くことで、お願いをしたいというふうに考えております。

副議長。

○15番（村田博英君）

今の件なんですけど、委員会の移動につきましては過去も例がありませんので、委員会変更理由といえますか、委員会よりも重要な事項であるということ、ご報告願って、議会運営委員会で判断をするようにお願いしたいと思います。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今、副議長のほうから、委員会よりも大事なという表現がありますけれども、決してそういうことじゃなくて、中野議員のほうから報告しましたように、牧之原土地改良区という、これは非常に大事な牧之原市の重要な仕事で、たまたま私と中野議員がそこの理事ということで入っております。

それで、先週の金曜日でしたか木曜日でしたか、運営協議会というのがございまして、そこで

初めて今年度の予定が報告されました。

それで、ちょうどこちらとかぶっていたものですから、それを議長のほうに変更をお願いしたい。スケジュールを見ましたら、ちょうど8日、9日もしくは14日、15日空いているようでしたので、そのようにお願いしましたがけれども、今、副議長の発言というのは、非常に我々とする問題になる発言だと思います。

そういったことで、あくまでも予定というのは予定であって、今日、初めて4月の全員協議会で議員全員の皆さんに、これが提出されました。先週、運営委員会のほうで始めてこれを見ましたけれども、そのときには、まだ牧之原畑総の予定は聞いておりませんでしたので、その直後、ご報告させてもらいました。

これは、このことだけじゃなくて、議会全体でいろいろ予定というのは被ることがございます。それはその都度、変更しなければならぬし、今日、初めて4月ということで、空いてなければ、それは変更は可能だということで考えたほうがいいのかと思います。

個人の都合で議会の予定を変えてくれというのは全く次元の違う問題ですので、その辺の考え方をしっかり持っていただきたいと、そんなふうに思います。

○議長（植田博巳君）

村田副議長。

○15番（村田博英君）

検討してくださいと言ったんですよ。中身は今、初めて聞いたので分からないんですよ。ですから、そういうことを申し上げたんです。過去にありませんしね。だから、議運の検討事項としてやってくださいという、そういうことを申し上げたんです。

関係ないとか、そんな問題発言とかという、そういう意見はないと思いますよ。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

非常に問題だと思います、発言自体が。

議長のほうにも、その旨、報告してありますので、正副議長というのは、あくまでも一体ですので、当然、議長のほうから状況または内容については、副議長も聞いていたかと思います。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

議会より大事な会議です。というのは、私たち議員として出席させていただいています。先ほど、議会よりも大事じゃないような発言があったので、一言、言わせていただきますけれども、5市の市長さんも出ております、この会議には。

そういった中で、議長はよく分かっていると思うんですけども、お水の関係で、大変大事な会議でございますので、そういった意味で私たちは言うんですけども、それより大事ではないと

いう言い方はちょっと失礼だというふうに、私は思いますので。

○議長（植田博巳君）

村田副議長。

○15番（村田博英君）

議会より大事ではないなんて言ったことはないですよ、今。

そうじゃなくて、本来は議会中心なんですから、その報告自体を私は聞いていませんから、今日初めて聞いたんですよ。議長はその前に聞いていたとは思いますがね。

だから、そういう質問をして悪いんですか。それは当然でしょう、だって。軽視、軽視って、そんなこと使ったこともないし、どういう中身かも分からないわけですから、そういう質問をしたら悪いんですか。

駄目だと言っているわけじゃなくて、議会運営委員会でそういうことを決定するわけですから、その質問をただけですから。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

運営委員会で協議いたします。

○議長（植田博巳君）

これの件については、今、中野、太田、両議員から理事というような立場の中で、やはり大変に重要な案件であるという報告の内容でございますので、議会運営委員会のほうで協議していただいて、決定していただきたいというふうに思っております。

よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

そういうことでお願いします。

ほかに、今までの件について、何かご質問とか、ございましたら。

名波議員。

○4番（名波和昌君）

原子力発電所の視察研修の作業着の着用のところなんですけど、帽子も着用したほうがよろしいんですか。帽子はなくても構わないですか。

○議長（植田博巳君）

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

今出ましたヘルメットの件ですけれども、ヘルメットにつきましては、浜岡原子力の中電のほうで用意していただけますので、ご自分のヘルメットは持ってこなくても結構です。

以上です。

○議長（植田博巳君）

絹村議員。

○3番（絹村智昭君）

すみません、教えてください。

市議会におけるクールビズの実施、これは自分は内容が分からないので教えてください。

○議長（植田博巳君）

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

先ほど話しましたクールビズにつきましては、ネクタイの着用をしなくていいというのと、あと、こちらの上着のほうも着なくてもいいと言ったらあれですけども、クールビズです。それが5月1日から10月31日まで実施されるということで。

○議長（植田博巳君）

事務局長。

○事務局長（原口 亨君）

一般的にクールビズということで、上着、それからネクタイは着用されなくても結構ですということなんですけれども、その間に6月の定例会があったり、9月の定例会がありますので、皆さん今、議員バッジをつけられて議場に入られていますけれども、その代わりに、つり下げ用の名札を用意してありますので、会議のときは必ず名札を着用していただければ、上着は、もし寒ければ着てくださっても結構ですし、そのときの気候でいいかと思えます。ネクタイは不着用でも構いませんということで、お願いします。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

補足で申し訳ないですけども、クールビズって、それぞれの議会によって少し考え方の違う部分があって、例えば、本会議場に入るときには、たとえクールビズであっても、ネクタイはしなくても上着は着用するという、こんな感じで形式的にやっているところもあります。

ただ、牧之原市議会においては、今までの例でいくと、別に上着は必要ない、先ほど言ったように名札をかけてということで、それで、どうしてもやっぱり寒い日もあるものですから、そういったときには、上着を着ている議員もおりますけれども、基本的には上着も要らないということで考えていければいいかと思えます。

○議長（植田博巳君）

今お話ししたとおり、上着もネクタイもいいということですけども、シャツはワイシャツのほうがいいのかなど。ポロシャツでというのは、ちょっといかがかなというふうに思いますので、常識ある判断でお願いしたいと思えます。

ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

それでは、以上で議員全員協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

〔午前 10時51分 閉会〕